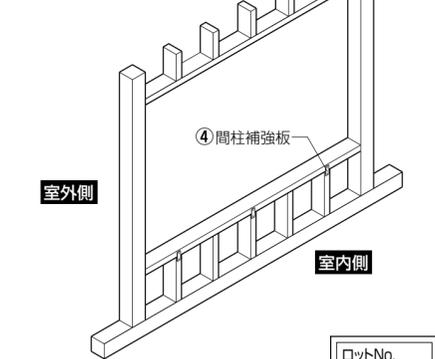


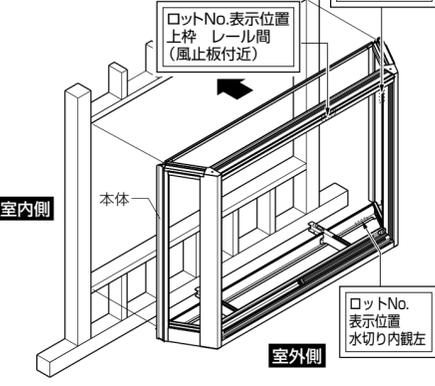
■取付け順序

1 開口部の確認

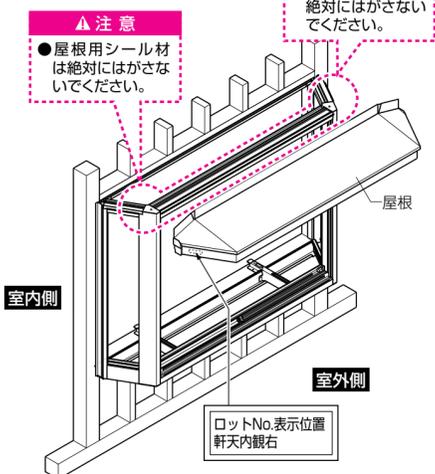
2 間柱補強板の取付け
(W1891mmを超える場合のみ)



3 本体の取付け

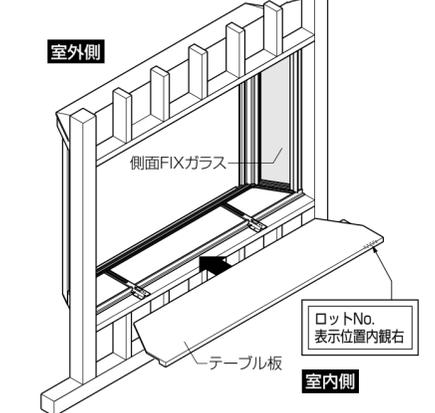


4 屋根の取付け



5 側面FIXガラスの建込み

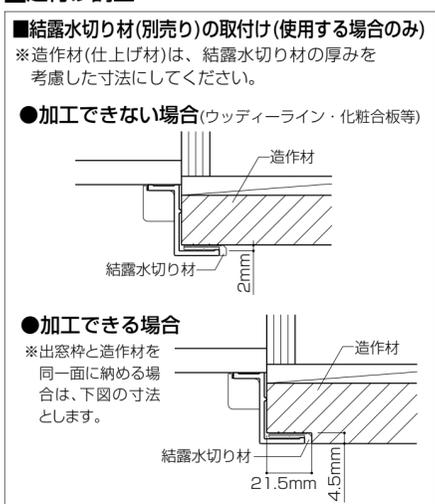
6 テーブル板の取付け



7 造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定

8 障子の建込み

9 建付け調整



■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味が
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工上のお願

- 屋根にははしごをかけたり、のつたりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠け等の原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材はぬれると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- ねじは2.5±0.5N・m [25±5kgf・cm]のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

■取付け部品一覧表

番号	①	②	③	④	⑤	⑥
名称	φ4×30ナベタッピンねじ	φ4.1×63丸木ねじ	φ2.4×38スクリュー釘	間柱補強板	φ4×30ナベタッピンねじ(屋金付き)	φ3.5×20皿木ねじ
姿図						
使用箇所	縦枠(室外側)・躯体水切り・躯体補強ブラケット・躯体間柱補強板・躯体	補強ブラケット・躯体	屋根・躯体	窓台・間柱	正面上枠・屋根	天板見切り縁・屋根
袋表示	取付け用1			取付け用2		
番号	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
名称	φ3.5×20皿木ねじ	φ4×20皿タッピンねじ	M4×10皿小ねじ	防水シール	M4×10トラス小ねじ(先付)	
姿図						
使用箇所	浴室用B型以外	浴室用B型のみ	キッチン用B型	(すっきりやねんのみ)	(角型のすっきりやねんのみ)	
使用箇所	天板見切り縁・額縁	側面下枠・テーブル板	アルミ額縁・縦枠	屋根・縦枠フィン	屋根・縦枠	
袋表示	取付け用3					

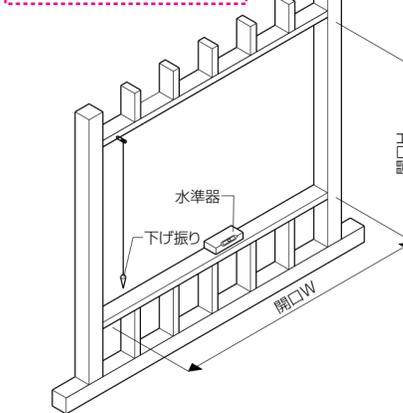
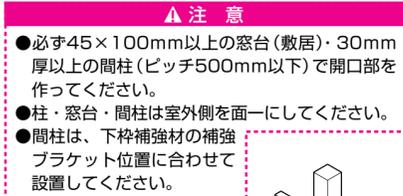
※左表の番号は本文図中の番号を示します。間違いないよう使用してください。
※キッチン用出窓B型にキッチン用額縁(別売り品)を使用する場合は、⑨のねじを使用してください。(額縁に同梱のねじは使用しません。)
※⑩⑪の部品は、屋根に同梱されています。

■取付け詳細

※図中の番号は、取付け部品一覧表の番号を示します。間違いないよう使用してください。

1 開口部の確認

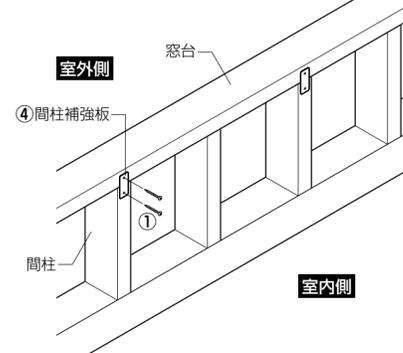
●水平・垂直を確認し、開口部を作成します。



2 間柱補強板の取付け

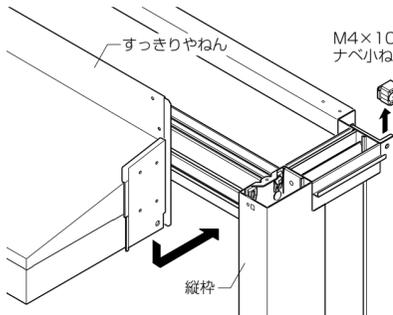
(W1891mmを超える場合のみ)
●補強ブラケットがくる間柱の室内側に間柱補強板を当て、窓台・間柱にねじ止めします。

▲注意
●間柱補強板は必ず使用してください。

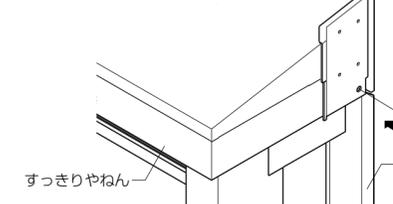


3 4 本体・屋根の取付け

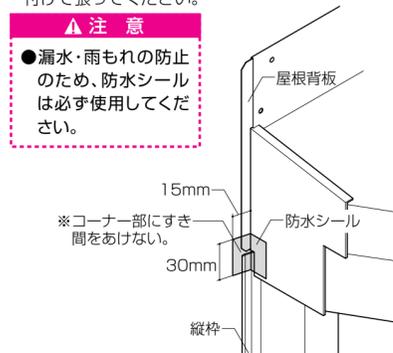
①本体を開口部に差し込み、補強ブラケット・水切り・縦枠(室外側)の順で躯体に固定します。
②屋根を本体に差し込み、躯体に固定します。
1) L型出窓のすっきりやねんは本体縦枠上部についている屋根ガイドピースを外し屋根を本体に差し込みます。



2) L型出窓のすっきりやねんは本体に差し込み後、⑪ねじで本体と固定し躯体に固定します。

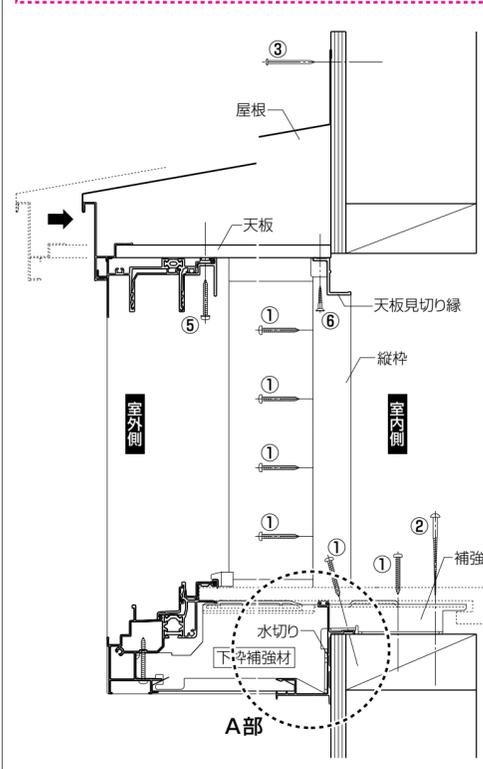


3) すっきりやねん使用の場合は縦枠フィンと屋根背板の境目に⑩防水シールを張ります。
※コーナー部にすき間ができないよう十分に押し付けて張ってください。

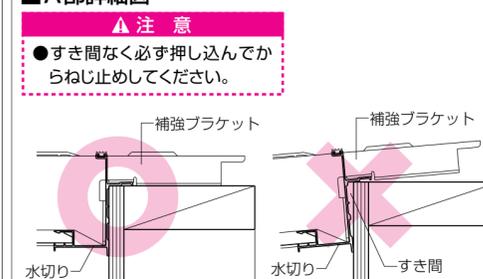


▲注意
●漏水・雨もれの防止のため、防水シールは必ず使用してください。

▲注意
●屋根は必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。



■A部詳細図



▲注意
●すき間なく必ず押し込んでからねじ止めしてください。

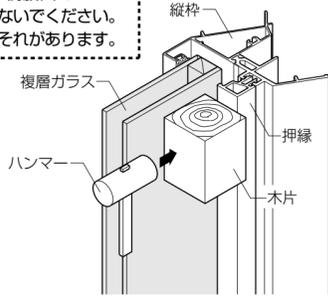
■取付け詳細

5 側面FIXガラスの建込み

- ①室内側からガラスを入れます。
- ②縦押縁・上押縁の順で押縁に木片を当て、ハンマーで端部よりたたき込みます。
- ③後付けビードをまわします。

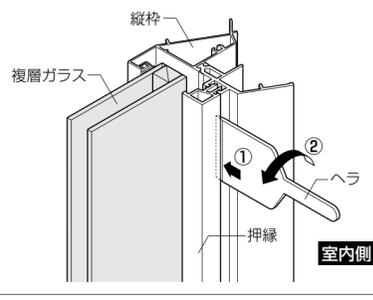
■お願い

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



■FIX部ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁と上枠・方立・縦枠の間に下図のようなヘラを突き当たるまで差し込み、ねじるようにして押縁を外してください。

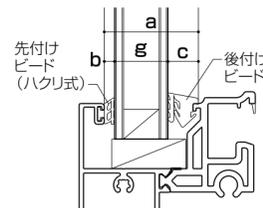


■FIX部ガラスビードの使用区分

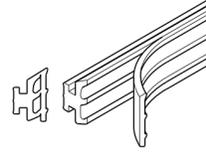
●PG(複層ガラス)/a=30

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売の)
18	3-12-3	4	8
19	3-12-4	4	7
20	3-12-5 4-12-4	4	6
21	4-12-5	3(ハクリ)	6
22	3-12-6.8 5-12-5	4	4
23	4-12-6.8	4	3
24	5-12-6.8	3(ハクリ)	3

※後付けビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上押縁・縦押縁・下枠の4方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。



【先付けビードのハクリ方法】

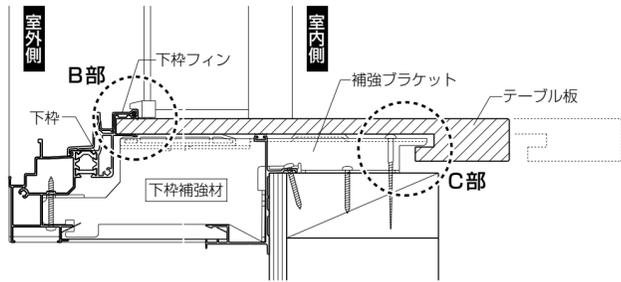


6 テーブル板の取付け

※浴室用で、アルミ額縁使用の場合は、アルミ額縁梱包内の取付け説明書に従って4方を組み立ててから取り付けてください。

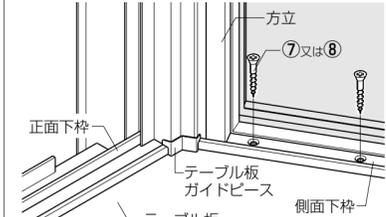
●下枠フィン・補強ブラケットにテーブル板を差し込んでねじ止めます。

※居室用テーブル板は、両端を上から押さえながら差し込んでください。



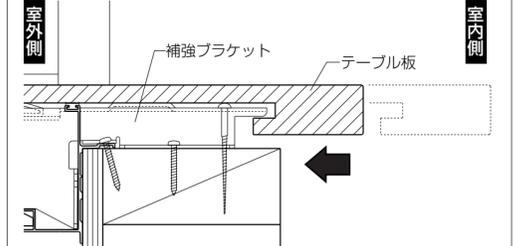
■B部詳細図

※人造大理石テーブル板使用の場合、キッチン用はφ3、浴室用はφ3.5の下穴を必ずあけてください。



■C部詳細図

※テーブル板は補強ブラケットに必ず引っ掛けてください。



7 造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定

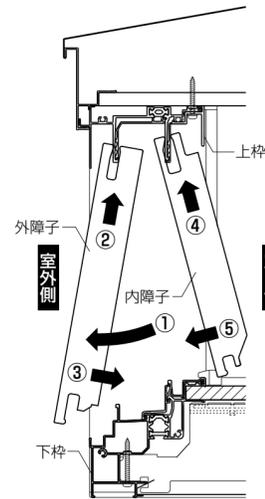
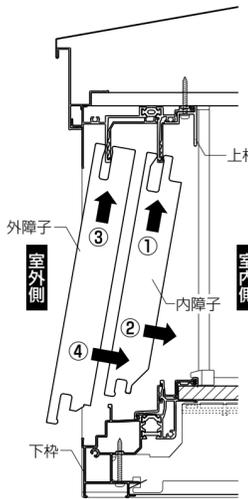
8 障子の建込み

●下図の手順で障子を入れます。

※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

【室外側からの建込み】

【室内側からの建込み】

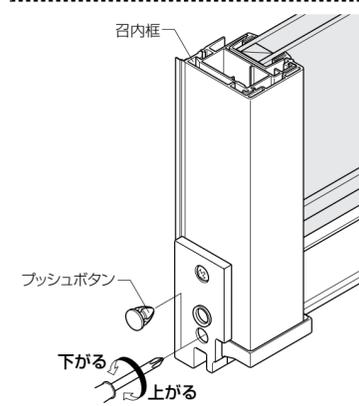


9 建付け調整

■戸車調整

●プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)

※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がらぬので、上げたい場合のみ戸車調整してください。



■クレセント調整

【上下方向の調整】(クレセント本体)

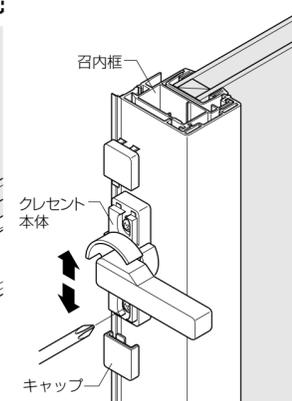
①マイナスドライバーでキャップを外します。
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。

※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

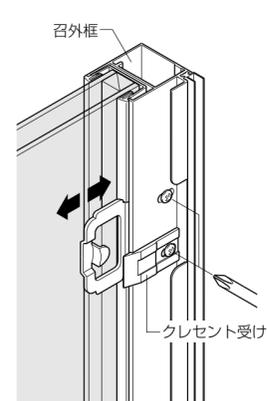
【左右方向の調整】(クレセント受け)

●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

【上下方向の調整】



【左右方向の調整】

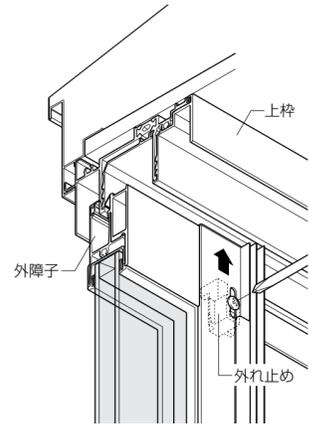


■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

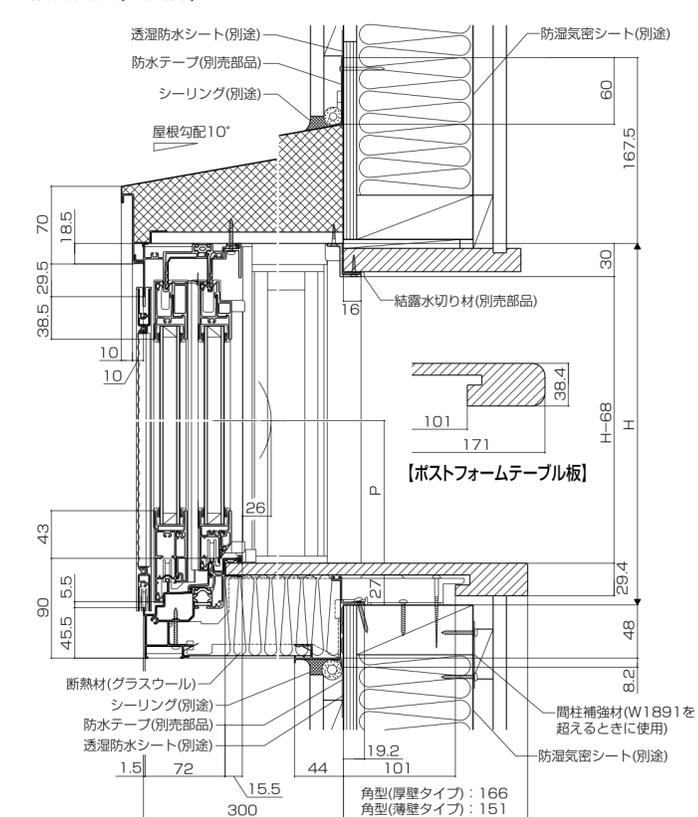
▲注意

●必ず外れ止め調整ねじをあげてください。



■参考納まり図

●縦断面図(正面部)



●横断面図

